

## 経済産業研修所の管理・運營業務の評価（案）の概要

### 1. 事業概要

事業内容：経済産業研修所の管理・運營業務

実施期間：平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間

応札者数：4者

### 2. 事業実施に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目を全て達成している。
  - ・ 快適性の確保  
施設利用者アンケートの満足度  
「清掃業務」、「施設警備及び受付業務」、「点検等及び保守業務」の満足度を測定（定量的な指標：設問それぞれについて満足度が80%以上、回収率95%以上）
  - ・ 品質の維持  
管理・運營業務の不備に起因する空調の停止、停電、断水の発生回数  
（定量的な指標：0回）
  - ・ 安全性の確保  
管理・運營業務の不備に起因する当該施設内での人身事故（及び物損事故）の発生回数（定量的な指標：0回）
  - ・ その他  
管理・運營業務の不備に起因する当施設における研修の中断回数（定量的な指標：0回）
  
- 創意工夫に関しても、民間事業者の提案による設備機器等の改修・修繕の実施、各種マニュアルの作成、災害等緊急時の対応訓練の実施、仕様書に掲げていない箇所の清掃の提案や植栽作業におけるきめ細かい配慮等の改善提案がなされ、良好に業務が実施された。中でも空調設備や照明設備の高効率運転を行ったことで平成26年度電力使用量が、市場化テスト導入前の平成19年度比▲335,697kWH（▲48.1%）と大幅に削減されていることは特筆に値する。

### 3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、単年度当たり68,667千円であり、従来の実施経費（単年度当たり95,534千円：市場化テスト実施直前の平成19年度）と比べて、26,867千円（28.1%）の経費が削減されている。

### 4. 今後の事業

本事業は、実施状況が良好であり、経費も削減されている。また、入札において4者の応札があり、競争性も確保されていることから、本事業については「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅲ. 1の基準に基づき新プロセスに移行した上で、事業を実施することが適当と考えられる。

以上